



LUNCHTIME CONCERT

ランチタイムコンサート Vol.125

DEC. 2023

希望に向かって

大瀧拓哉

(ピアノ)

Program

ベートーヴェン：
ピアノ・ソナタ第30番 ホ長調 Op.109ベルク：
ピアノ・ソナタ Op.1フレデリック・ジェフスキ：
ノース・アメリカン・バラード第4番
《ウィズボロ綿工場のブルース》(1979)

Takuya Otaki

12 / 15 2023 (金) 入場無料

トッパンホール

開演 12:15 開 場 11:45 全指定席 要予約
終演予定 13:00 (お一人様2席まで申し込み可能)

受付期間：2023年11月6日(月)～11月24日(金)

■トッパンホールクラブ会員

【お申し込み方法】電話(ご希望のお席をお選びいただけます)

■一般

【お申し込み方法】ハガキ(お席の指定はできません)

- ①ハガキに住所・氏名(フリガナ)・電話番号・ご希望の席数をご記入の上、下記宛先までお申し込みください(11月24日必着)。※応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。※お一人様につき2通以上のお申し込み、また、受付期間外のお申し込みは、無効とさせていただきます。
- ②当選者にのみ、12月5日(火)までに、座席指定ハガキを発送いたします。
- ③当日は、座席指定ハガキでそのままご入場いただけます。終演後のハガキの回収にご協力ください。

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3
トッパンホールチケットセンター「ランチタイムコンサートVol.125」受付係

われらがトーマス・ヘルの弟子で、アメリカの作曲家フレデリック・ジェフスキ紹介に並々ならぬ意欲を見せ続ける大瀧拓哉。しかし彼の音楽的興味や可能性は単なるジェフスキ愛にとどまらず、師匠譲りのきわめて知的なプログラムビルディングと、しなやかでナイーブな感性で作品の魅力を自ら語らせるところにあるように思います。そんな大瀧のランチタイムコンサートは、とても意欲的なプログラム。ベートーヴェン後期の中でもひとときわ静的かつ瞑想的な美しさに溢れ、神々しささえも纏うホ長調 Op.109と、20世紀初頭の不安な空気や不安を強烈に表現したベルクのソナタ、20世紀後半の社会問題から目を逸らすことなく音楽作品として発表し続けたジェフスキとを対比させた壮大なプログラム。ピアノ音楽を超え、それぞれの偉大な芸術家たちのメッセージとして体感してもらいたいことを狙っているかのようです。

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222

10:00～18:00 土日祝休

トッパンホールウェブサイト www.toppanhall.com

【交通のご案内】

- | | |
|-------|--|
| 江戸川橋駅 | 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分 |
| 飯田橋駅 | JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分 |
| 後楽園駅 | 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分 |
| 都営バス | 【上69】[飯64][大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分 |

※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)
※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
※未就学児のご入場はお断りいたします。
※託児サービス【要予約・有料】：公演日1週間前までにイベント託児・マザーズ 0120-788-222
【10:00～12:00, 13:00～17:00(土日祝休み)】へお申し込みください。